



Change the Field

あなたの挑戦を、人生を。

実践型マッチングプログラム
キックスタートキャンプ 2023

実践型マッチングプログラム

キックスタートキャンプ2023とは？

地域の挑戦者たちとの対話やフィールドワークを通して
町との関わり方を見つける、実践型マッチングプログラム。

『上質な里山』を体感し、自分を見つめなおすことで
想像しなかった事業プランが生まれることも。

阿蘇の雄大な自然の中で、ここでしかできないことを見つけませんか？

南小国町で挑戦したい人がここでしか できない事業プランをつくる機会

地域パートナーが募集するプロジェクトに対して

- ① あなたも本気でやってみたいことかを対話
- ② 地域との相性や求められていることとのすり合わせ
- ③ 経験豊富なメンターによるブラッシュアップ

を行います。

- ✓ 応援してもらえる関係性ができる
- ✓ プロジェクトが具体的に見えて自分ごとになる
- ✓ 多様な視点でプロジェクトの可能性を広げられる



2023年度 募集プロジェクト&テーマ

林業

 喫茶竹の熊×観光事業企画

 小国郷の家 D2Cサービス開発

林業

 林業NPOコーディネーター

 南小国式林業の新メンバー

商業

 愛される町のお菓子開発

 阿蘇ブランドのバイヤー&セールス

まちづくり

 地域商社コーディネーター

 まちの子育て仕組みづくり

求める人物像



こんな方にオススメ！

- ✓ 挑戦を楽しめる
- ✓ 主体性を持って取り組める
- ✓ 正解がないことに向き合える



こんな方はつらいかも…

- ✓ 人と関わるのが苦手
- ✓ 決まった仕事がしたい
- ✓ 指示をしてもらいたい



A woman with dark hair, wearing a white t-shirt and dark blue jeans, is shown from the chest up in profile, looking towards the right. The background is a soft-focus landscape of rolling green hills under a bright sky. A white rounded rectangular box is overlaid on the image, containing the text.

これまでのプロジェクト実績



當房 こず枝 さん

技術継承 × 木工職人



ショヴォー ナタリーさん

有機農業 × IoT



寺世 風雅 さん

林業 × デジファブ





長谷部 湧也 さん × (株) Foreque

100年先まで残る建築 × カフェ



園田 亮 さん × 黒川温泉旅館組合

持続可能な観光に向けた事業開発





新規事業型

坂井 文香

北海道出身。「持続可能な手形づくりと森づくり」をミッションに、入湯手形を複数人で製作していく仕組みづくりの担い手として着任。黒川温泉入湯手形製作をしている河津開発と、昨年度まで協力隊で活動していた當房こず枝氏が事業パートナー。



起業型

東 真千子

福岡県出身。「南小国らしい森作りを通して森に関わる人を増やし、生業のモデルケースを作る」をミッションに、自伐型林業と自然体験を中心に半林業の生業化に取り組む。農林課林務係が事業パートナーとなり、南小国町の里山保全・森林活用へ寄与を目指す。



新規事業型

田苗 玲奈

福岡県出身。「草原の維持に向けた羊産業のモデルづくり」をミッションに、羊飼いとして牧羊犬のティムと共に羊の管理と牧野の維持を行う。事業パートナーは、田の原温泉の旅館「流憩園」の北里和教氏。羊肉や観光など羊を中心に複合的な事業展開を進める。

A woman with dark hair, wearing a white t-shirt and dark pants, is shown from the chest up, looking towards the left. The background is a soft-focus landscape of rolling green hills under a bright sky. A white rounded rectangle is overlaid on the image, containing the title text.

プログラムの流れ

応募からプログラム参加までのステップ

8月下旬
募集開始

10月27・28・29日
フィールドワーク・対話



情報公開

エントリー

プログラム
前半

プログラム
後半

活動計画
作成

最終面接



10月6日
応募締切



12月15・16・17日
プラン発表

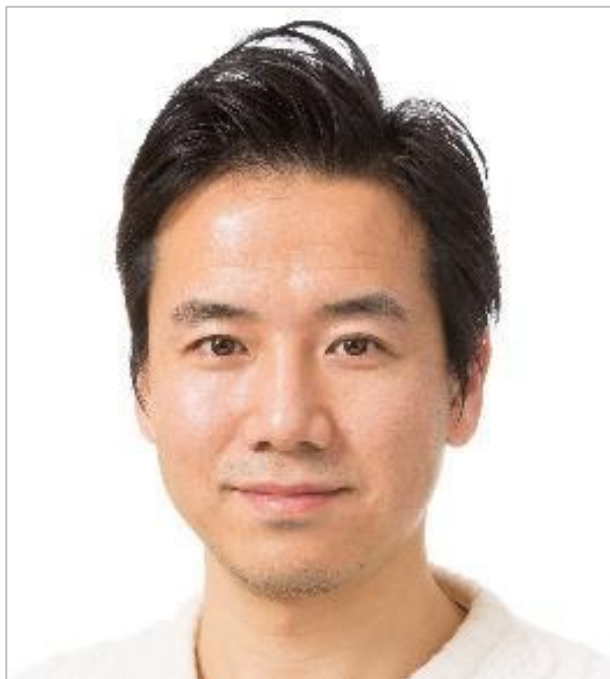
← 審査会 →

1月～2月
個別開催

プログラムのスケジュール

	前 半			前半終了 以降	後 半		
	10/27(金)	10/28(土)	10/29(日)		12/15(金)	12/16(土)	12/17(日)
午前	移動 13:00 現地集合	事業パート ナー メンターとの プラン会議	プラン発表	オンライン 進捗共有 および 個別面談	移動 13:00 現地集合	地域パート ナーとプラン のブラッシュ アップ	最終発表会
午後	プロジェクト 紹介 フィールド ワーク	プラン作成	—		プラン共有 メンター フィードバック	メンター 個別相談 発表準備	※協力隊 志望者のみ 最終面接
	2泊3日			—	2泊3日		

メンター紹介



高橋 大就 氏

NoMAラボ 代表理事 / 東の食の会 専務理事 / 福島県浜通り地域代表 / なみえ星降る農園プロデューサー / オイシックス・ラ・大地株式会社 GEO / 米国Purple Carrot 社外取締役

1999年に外務省へ入省。2008年にMcKinsey & Companyへ転職。2011年、東日本大震災直後より東北で活動、同年6月に東の食の会を立ち上げ事務局代表に、並行してオイシックス株式会社執行役員(海外担当)に就任。2019年にNoMAラボを設立。2021年4月、全町避難からの復興を進める福島県浪江町に完全移住。福島県浜通り地域の食のブランドづくりや「なみえ星降る農園」の運営を行うと同時に、NoMAラボにて住民主体のまちづくりに取り組んでいる。



山内 幸治 氏

NPO法人ETIC. シニア・コーディネーター / Co-Founder

1997年、大学在学中に、創業メンバーとしてETIC.の事業化に参画。国内初の実践型インターンシップの事業化や、その仕組みの地域展開に取り組む。東日本大震災後には、震災復興リーダー支援プロジェクトを立ち上げ、東北のリーダーのもとに右腕となる人材を5年で250名派遣。2016年より先進10自治体と連携したローカルベンチャー協議会の設立や、企業コンソーシアム「and Beyond カンパニー」の立ち上げなど、各省庁、大手企業、ベンチャー企業、地方自治体等と連携して、社会や地域課題に取り組む担い手を育む環境整備を進めている。

募集要項

【対象者】 ①南小国町での起業を目指す方 ②南小国町内企業または団体での新規事業に取り組みたい方

【必須条件】 ①普通自動車免許取得者で運転に支障がない または 移住までに運転技術の習得意思があること。
②パソコンを使った一般的な操作（Word, Excel, Powerpoint, メール, SNS等）ができること。

【日程】 <前半> 10月27日(金)～29日(日) <後半> 12月15日(金)～17日(日) いずれも2泊3日

※ 協力隊制度を活用する場合は、前半と後半の2回の参加を必須とします。

※ 前半ご参加後、後半にも参加されるかの意思確認をいたします。

【場所】 熊本県阿蘇郡南小国町（現地集合・現地解散）

【費用】 参加費・宿泊費無料

※ 宿泊場所はこちらで手配します。また滞在中の食費は自己負担となります。

【応募方法】 <Web申込フォーム>からご応募ください。締切：10月6日(金)

※ 申込の状況によっては、応募を早めに締め切らせていただく可能性があります。

※ 同業他社の方、他地域で事業展開中の方の応募はご遠慮ください。

A woman with brown hair, wearing a white t-shirt and dark blue jeans, is shown from the chest up in profile, looking towards the right. The background is a soft-focus landscape of rolling green hills under a bright sky. A white rounded rectangular box is overlaid on the image, containing the text.

プログラムと制度に関する Q & A

よくあるご質問 <プログラムについて>

Q. 起業・移住の意志が固まっていないのですが、プログラムに参加しながら考えてもよいのでしょうか？

A. ご参加いただけますが、事前にご自身がやりたいことの仮説を立てて来られることをおすすめしております。

Q. 南小国町での起業、就業や移住は考えておらず、勉強のために参加したいのですが可能でしょうか？

A. 本プログラムは、南小国町での起業、新規事業、事業承継を考えている方向けのプログラムですので、**勉強のためのご参加はご遠慮いただいております。**起業、就業を考えているが移住は検討中という方に関しては、現地で実際に考えていただける機会となりますのでご参加をおすすめいたします。

Q. プログラムは全日程に参加しなければなりませんか？

A. 協力隊制度を活用する場合は、全日程の参加が必須です。

定員があるため、全日程ご参加いただける方を優先してご案内させていただきます。

Q. 「メンター」「地域パートナー」「コーディネーター」とは何ですか？

A. 「メンター」とは、**事業プランへの指導・助言を行う専門家のこと**をいいます。事業プランを南小国町であなたが進めることの意味を、多角的に考えてくれる存在です。

「地域パートナー」とは、南小国町内で起業に関する専門領域で活動をしていたり、新規事業立ち上げを担う責任者など、**町内で事業を進めていくための世話人**のような存在です。

「コーディネーター」は、**町内で案件組成や事業推進の伴走**をしています。事業のマイルストーンの設定、町内外リソースとの接続などを通して、事業推進をサポートします。

よくあるご質問 <制度活用について>

Q. 地域おこし協力隊制度を活用するには、移住しなければなりませんか？

A. 制度活用には、南小国町への移住が条件となります。

Q. 移住後は、定住しなければなりませんか？

A. 制度活用には、南小国町在住である必要があります。活動終了後も南小国町に継続して住んでいただけることを望みますが、町に事業成果を残していただいたあとの選択は自由です。

Q. 制度活用する場合、いつまでに移住をする必要がありますか？

A. 原則、2022年3月までに住居移動を完了し、4月から活動を本格的にスタートしていただくことを想定しています。スケジュールの調整が難しい場合は、ご相談ください。

Q. 町内企業での新規事業立ち上げを希望していますが、着任後、起業を希望する人との違いはありますか？

A. 町内企業での新規事業立ち上げをされる方は、着任前に諸条件について地域パートナーと詳細を話し合ったあと、着任後も原則地域パートナーと事業を進めていただきます。着任後に全協力隊に実施する研修の出席や、活動費については、変わりありません。

そのほか気になることはお気軽にご相談ください！

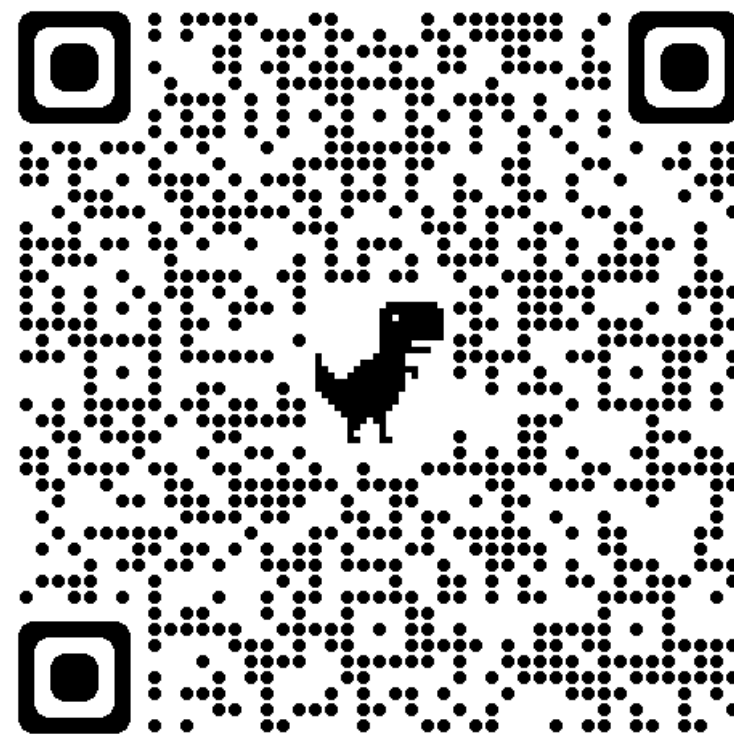
エントリーはこちら ✈️



まだ行けるか
どうか分からない…
もう少し迷いたい…

＼そんな方はこちら／
「ミライづくりブログ」または
「未来づくり拠点MOG」の
Instagramをフォローしてね！

〈Web申込フォーム〉QRコード



<https://smomiraizukuri.com/>



@miraimog